

日本音楽知覚認知学会平成14年度第2回理事会議事録

日時：平成14年11月23日（土）10:00～12:00

開催場所：キャンパスプラザ京都

出席者：桑野園子、阿部純一、岩宮眞一郎、安達真由美、大浦容子、大串健吾、小川容子、
苧阪満里子、加藤 徹、重野 純、田口友康、中山一郎、難波精一郎、仁平義明、
福井 一、古矢千雪、宮坂栄一、山田真司

議事に先立ち、本学会名誉会員の梅本堯夫先生のご逝去につき、桑野会長から哀悼の意が述べられた。

議題

1. 会員状況報告

加藤理事より平成14年11月22日現在の会員数は、名誉会員1名、会友2名、顧問1名、正会員283名、学生会員43名、総数330名であり、平成14年4月以降では退会者6名、入会者21名であることが報告された。また、前回理事会での会員数報告の訂正があり、学会誌8巻1号に掲載の会告に載せた数字が正しいものであることが報告された。

今年度までに年会費を3年以上滞納している5名の会員については、除籍とすることが認められた。

上記以外で会費を滞納中の会員について、連絡可能な理事から督促することになった。

2. 平成14年度会計中間報告

加藤理事より本年度会計の中間報告が行われた。

3. 日本音楽知覚認知学会学会賞の件

今回の各賞に関して賞状と副賞の説明が仁平理事よりおこなわれた。

4. 次期会長候補者推薦の件

まず、今回も平成8年に決められた会長、副会長、理事の選任手順に従うことが確認された。会則や内規の不整合を修正する必要があるが指摘された。

最初に桑野会長から、各理事から推薦された次期会長候補者の紹介があり、審議の結果、次期会長候補者として岩宮眞一郎副会長を決定した。

桑野会長の提案により選挙管理委員会を設けることとし、委員長に加藤理事、委員に苧阪満里子理事、中山一郎理事を選任した。

5. 平成15年度春季研究発表会の件

平成15年春季研究発表会を大浦理事のお世話で新潟大学で開催することが岩宮副会長より報告され、日程は審議の結果5月17(土)、18(日)の2日間と決定された。

6. 編集委員会報告

阿部編集委員長より学会誌7巻2号と8巻2号が年度内に発行できる予定であることが報告された。

また、6年間という長期にわたって学会誌編集にあたってきたので、編集委員長を交代してもらいたいとの意思が表明され、編集業務に関する Associate editor と consulting editor の役割と現状についての説明もなされた。

7. 特別会計の件

今回、難波理事から寄付の申し出があり、その受入方法が確認された。とりあえず定額貯金などの形で保管し、理事会で審議した上で、適切な目的に使用する方針が認められた。

また、大串理事より IC MPC 開催の準備金の状況と、次回は 2008 年に日本での開催となる可能性があることが紹介された。

8. 2004 年音楽系シンポジウムについて

情報処理学会の音楽情報科学研究会からの申し入れが検討され、本学会としては共催ではなく協力の内容を確認し上で、協賛程度にとどめる方針が確認された。この件に関しては、山田理事を窓口とすることとなった。

9. 音楽音響国際シンポジウム (ISMA2004) への協賛について

これは ICA2004 のサテライトシンポジウムのひとつとして開催されるもので、2004 年 3 月 31 日～4 月 3 日に奈良市で開催されること、参加人数は 120 名程度を計画していることが田口理事から紹介され、学会としては協賛を決定した。Web へのリンクも承認された。

10. その他

大串理事から、現在社会的に強い関心が持たれている音楽と情動について勉強会を行いたいこと、また、将来それをベースにした学会でのシンポジウムを考えたいとの提案がなされた。将来の研究会活動につなげるためにも、このような活動全体を総括的に担当する理事を決め具体的な形を検討するのがよいという発言もあったが、当面は大串理事の提案の活動を始めることとなった。

IC MPC7 (2002) の報告を中島、安達理事が中心となり取りまとめて、学会誌 8 巻 2 号に掲載することが提案され了承された。

以上
(作成: 加藤)